

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生命の科学（口腔の構造と機能）					学期	曜日	校時
英語名	Life Science (Structure and Function of Oral Cavity)							
担当 教員名	小守 壽文 鮎瀬 卓郎 水野 明夫	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	火曜日	1校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>皆さんは、毎日いろいろな人と話をし、いろいろな物を食べて生活しています。このような活動は人間が快適な生活をするのに基本的なことです。何気なく話をしたり、食べ物をたべていませんか？もし、このような活動が不自由になったらどうなるか考えたことがありますか？</p> <p>本科目では、会話や咀嚼で重要な役割を担う「口腔の構造と機能」をテーマに講義を行います。さらに、本科目では口腔の構造と機能の破綻、つまり口腔の疾患が起こるとどのようなようになるか、さらにそれらの疾患をどのように治療するかについても講義を行い、多くの方に「口腔」の役割と重要性を理解してもらうことを目的としています。3人の教官により「口腔の構造と機能」に関する基本的な事項を講義すると共に先端的な研究、治療法も概説します。</p>								
テキスト、教材等								
教科書は使用しません。授業計画に沿ったプリント等を配付し、パワーポイントを利用して分かりやすく講義します。								
対象学生	成績評価の方法				教員研究室			
全学部	課題レポート、出席状況等を考慮して評価します。							
授業計画								
<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 口腔の基本的な構造と機能（1）</p> <p>第3回 口腔の基本的な構造と機能（2）</p> <p>第4回 歯はどのようにできるか（歯の発生機構）</p> <p>第5回 骨、軟骨はどのようにできるか（先端基礎研究について）</p> <p>第6回 虫歯の痛みはどのように起こるか（痛みの発生機序）</p> <p>第7回 痛くない麻酔の注射の話（局所麻酔法）</p> <p>第8回 歯医者が嫌いな人に聞いてほしい話（全身管理法）</p> <p>第9回 治療に苦勞する口・顎の病気の話（関連疾患）</p> <p>第10回 これからの歯科医療はどこへ行く（最先端治療について）</p> <p>第11・15回 歯、顎、口腔などに異常状態が生じた結果、重要な機能障害（開口障害、閉口障害、摂食障害、咀嚼障害、吸啜＜特に哺乳＞障害、嚥下障害、発音障害、呼吸障害、知覚および味覚障害など）が起こってくる。これらの原因（異常状態）と治療について概説する。</p>								
<p>オフィスアワー（質問受付時間）</p> <p>歯学部基礎研究棟3階 教授室（小守）電話 849-7630 内線 4210 komorit@net.nagasaki-u.ac.jp 午後4:30-6:30</p> <p>歯学部C棟5階 助教授室（鮎瀬）電話 849-7714 内線 4401 ayuse@net.nagasaki-u.ac.jp 適宜</p> <p>歯学部C棟8階 教授室（水野）電話 849-7695、内線 4370 akimizu@net.nagasaki-u.ac.jp 夕方5時前後</p>								